

○嶋村 孝* 六平 いく子* 武藤 政美* 堀口 恵子* 坂本 圭久**
(*明和女短大, **サンデン (株))

目的:手軽に利用されているコンビニエンスストアのおにぎりは、どのようなものが好まれるのか、7店舗のコンビニエンスストアについて官能検査を行い検討した。
方法:1)どの味が本学学生に好まれるかアンケート調査を行った。2)その結果をもとに前橋市内のA~G店の7店舗のコンビニエンスストアのそれぞれからツナ味(シーチキン)のおにぎりを購入した。おにぎりの温度を均一にするため電子レンジではなく、加熱温蔵庫を用いて80℃1時間加熱し、官能検査直前にのりをあわせ包装紙より取り出した。3)順位法では、4種類および3種類のおにぎりについて官能検査を行った。4)両極7段階評点法では、7店舗のおにぎりを半分にし、それを対にして、それぞれを組み合わせる官能検査を行った。

結果:1)アンケート結果では、おにぎりを買う回数は一週間に1回および2~3回と答えた学生がそれぞれ25%であった。よく買うおにぎりはシーチキン25%、明太子、明太子マヨネーズ、とり五目がそれぞれ11%、次いで、梅干し、こんぶ、葉とうがらし、鮭の順であった。2)順位法によるA店,B店,C店,D店の比較では、総合評価でA店,D店,B店,C店の順に好まれた。A店,E店,F店の比較では、E店,A店,F店の順に好まれた。3)両極7段階評点法の比較では、A店,E店,F店,D店,C店,B店,G店の順に好まれた。このことから、女子短大生に好まれるおにぎりは、のりがぱりぱりで、マヨネーズを使用したものであった。